



中央図書館 ☎ 23-4946
 赤羽根図書館 ☎ 45-3426
 渥美図書館 ☎ 33-1114

QRコード
[図書館HP](#)

ホットニュース Hot News

◎赤羽根図書館・渥美図書館の新春企画

毎年恒例となっている「司書のおすすめ、本のバラエティ貸出パック」を今年も開催します！

司書が大人向け・子ども向けに選んだ3冊の本を、新聞紙で作ったエコバッグに入れて貸し出します。バッグの中身は借りてからのお楽しみです。本を入れているエコバッグはプレゼントします！お1人様1袋まで。無くなり次第終了します。



▲前回の赤羽根図書館の様子

司書のおすすめ、本のバラエティ貸出パック

場所/内容

- ①赤羽根図書館/大人向け15袋、子ども向け10袋
- ②渥美図書館/大人向け15袋、子ども向け15袋

日時

令和7年1月5日(日)

午前10時～

▶赤羽根図書館

☎ 45-3426

渥美図書館

☎ 33-1114



▲前回の渥美図書館の
本のバラエティ貸出パック



『もうひとつの引退馬伝説』

マイクロマガジン引退馬取材班/編著
マイクロマガジン社

厳しい競走の世界から一転、さまざまなステージで頑張り、ゆっくり余生を過ごす馬の姿が魅力的。私はドウさんが好きです。



『日本の城年表』

西ヶ谷恭弘/監修 朝日新聞出版

築城当時の姿を今に伝える城や復元された城。歴史の中で進化してきた城から日本史をたどってみませんか。

History Inquiry Club 其の245 歴史探訪クラブ

役行者の像

広報たはら平成27年11月号の歴史探訪クラブ 其の168で、「パワースポットを探せ役行者の像」と題して、「役行者の像」のことを書きました。この像は修験道に関わる実在した靈能者としても信仰を集め、市内の寺院、神社境内などに祭られています。

今回新たに「白谷町の役行者」と「伊川津町の役行者」を確認しましたので紹介します。

一つは白谷町の集落の西端にある木造の小さなお堂の中に安置されています。「白谷村講中」と刻まれた石の台座の岩に座り、右手に巻物、左手に錫杖を携えた石の像です。保管されていた棟札から、文政11(1828)年に、金毘羅さんのお堂とともに村内に建てられたようで、像もこの時に作られたものでしょう。像



▲白谷町の役行者

文化財課(博物館) ☎ 22-1720
 吉胡貝塚資料館 ☎ 22-8060
 渥美郷土資料館 ☎ 33-1127

博物館HP [博物館インスタグラム](#)

には着彩の跡も残り、とても200年近くたっているものとは思えません。地元では「荒神さま」と呼ばれていますが、70代の方に聞いたところ、役行者にかかる行事のことは知らないようです。それでも、正月の村内の初詣のコースとして今でもお参りは欠かさないようです。

二つ目は、変わり種で、伊川津町の海蔵寺のものです。何が変わり種かというと、石ではなく、なんと県内でも珍しい瓦製で、白谷町の石像より細かく表現されています。

心穏やかに暮らすための地域の民間信仰の実態は分からることが多く、役行者、庚申様をはじめ地域から忘れられ、その行事も失われています。



▲伊川津町の役行者

(学芸員 増山禎之)



◀市HPで、「歴史探訪クラブ 其の168」を公開しています。ぜひ一緒にご覧ください。